

科目名 Course Name	カラーコーディネート I Color Coordination			ナンバリング No.	C3-010		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または栄養福祉棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	[概要]色彩の基本的理論を学び、ビジネス社会や生活で役立つ配色を考え生かせるようにする。 [到達目標] ①色の働きや光と色、色の表示について理解できるようにする。②色彩心理や色彩調和、配色のイメージについて理解できるようにする。③ファッションと色彩、インテリアと色彩について理解できるようにする。④色彩について、知識とセンスを身につけ、感性を高める。⑤色彩検定3級取得を目指す。						
授業の方法	テキストと配色カードで基本を理解し、資料と色彩運用技術で色彩実務のスキルアップを図る。その都度、課題やカラー提案・調査など、レポート提出により、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。						
学習成果	L01	配色や色のイメージなど色彩の基礎的な内容を理解することができる。					
	L02	色彩検定3級程度の基礎的知識・技術を身につけ、ある程度自己判断をしながら、色彩に関するアシスタント的な業務を遂行することができる。商品企画・デザインに関する業務であれば、商品色の原案を目的に沿って提示できる程度の色彩技術(スキル)を身につけることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートや作品、授業ノート等の提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:書き込み式 色彩検定 3 級 (学芸出版社) ※新配色カード 199a を購入すること 参考図書:色彩検定(文部科学省後援)公式テキスト3級編 (色彩検定協会)、色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken) 授業内でプリント配布						
履修上の留意点やルール等	●レポート等提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイル、のり、はさみを用意すること。 ●日頃から色に関心を持ち、積極的に授業参加すること。 ●材料費は自己負担 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	課題意識をもってノートを取り、意欲的に質問し意見を述べるなど、授業への主体的な態度を評価する。	20			
レポート/作品	与えられた課題の内容を適切に理解し表現できているかを評価する。評価基準 S は事前に示した各観点十分に達成できている状態である。期限を過ぎた場合は減点する。	10	20		
発表					
小テスト					
試験	15 週目に実施。色彩の基礎的な内容(色彩検定 3 級程度)が理解されているか、評価する。		50		
その他					
合 計		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 色の働き(誘目性、視認性、明視性、可読性、識別性)【課題】 生活の中の色彩、特にファッションと色彩について
	事前・事後学習	生活の中の色について、サインとしての色や自然の季節の色の変化に気づくようにする。授業ノートNo.1を完成させ提出する。
2	授業内容	色の基礎知識① 色の分類と三属性(色相・明度・彩度とは) 色を感じるメカニズム等【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.2を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
3	授業内容	色の基礎知識② 色の表記方法 色相環のしくみ 明度・彩度・トーンの種類【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.3を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
4	授業内容	色の見え方、感じ方① 色の心理効果、色の連想とイメージ【課題】
	事前・事後学習	授業のノートNo.4を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
5	授業内容	色の見え方、感じ方② 色の視覚効果(対比と同化)【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.5を完成させる。繰り返し色彩検定問題を解く。
6	授業内容	色の見え方、感じ方③ 色の錯覚【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.5を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
7	授業内容	配色の基本技法① ファッションと色彩 ①イメージを表現する配色、自然な調和、流行色、まとまりのある配色、メリハリのある配色【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.6を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通・販売段階の色彩
8	授業内容	配色の基本技法② ファッションと色彩 ファッション産業における色彩を取り扱う姿勢 商品陳列と色彩、照明と色、コーディネートと色彩【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.7を完成させる。繰り返し色彩検定問題を解く。
9	授業内容	配色の基本技法③ 商品企画における色彩計画、カラーコンセプト【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.7を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
10	授業内容	慣用色名(日本の色)=歴史に残る伝統色 ①かさね色目、陰陽五行と冠位十二階 さまの着装の色重ねや和食の配色などで確認する。【レポート】
	事前・事後学習	授業ノートNo.8を完成させる。繰り返し色彩検定問題を解く。
11	授業内容	慣用色名(日本の色)=歴史に残る伝統色 ②ジャパンプルー、雅・粋・詫・寂・バサラ 日本人の感性と色は、豊かな自然から、歴史に残るこだわりの色となっていることを確認する。【レポート】 次時製作予定の作品の染色技法についての説明
	事前・事後学習	授業ノートNo.8を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。次時の作成のための材料準備や作品の構想を練る。
12	授業内容	カラー知識の活用 染色技法を学ぶ(ステンシル)【作品】
	事前・事後学習	事前に作品の構想を練る。
13	授業内容	生活環境と色彩 インテリア・エクステリア・プロダクト・メディア 興味を引きつけ、楽しさを感じさせる色使い【課題】
	事前・事後学習	授業ノートNo.9を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
14	授業内容	販売における色彩計画、VMDと色彩、ディスプレイやファッションへの応用【課題】 試験についての説明と復習
	事前・事後学習	授業ノートNo.10を完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
15	授業内容	パーソナルコーディネートと色彩 ①色・素材の質・形との関係 ②色が人に与える影響、カラーセラピーパーソナルカラー(似合う色、好きな色)を知る。【課題】 講義のまとめ、振り返り
	事前・事後学習	パーソナルカラー心理面への影響について考える。授業ノートNo.1～No.11を見直して重要事項を再確認する。